

# コンゴ民主共和国国際平和協力業務 (日本政府派遣選挙監視団)

コンゴ民主共和国においては、1998年にルワンダ共和国及びウガンダ共和国の支援を得た反政府勢力が、コンゴ民主共和国政府への攻撃を開始し、これにアンゴラ共和国、ジンバブエ共和国及びナミビア共和国が介入し、アフリカ中央部における国際紛争に発展しましたが、1999年から2002年にかけて行われた各種の交渉により一連の和平合意が成立し、これに基づき外国の軍隊は撤退するとともに、コンゴ民主共和国のすべての勢力が参加する形で暫定政権が樹立されました。

2005年12月に暫定政権の独立選挙委員会により憲法国民投票が実施され、コンゴ民主共和国憲法が可決されたことを受け、2006年7月30日に大統領及び国民議会議員の選挙が実施され、大統領選挙については過半数を獲得した候補がいなかったため、10月29日に2回目の投票が行われました。

我が国は、国際連合から選挙監視要員の派遣要請があったことを受け、国際連合平和維持活動等に対する協力に関する法律に基づき選挙監視要員を合計13名派遣しました。

コンゴ民主共和国では、紛争の終結以降、新たな民主国家に向けた国造りの努力が続いており、今回の大統領及び国民議会議員選挙は、民主的な政府の樹立過程における極めて重要な一歩です。今回の選挙監視要員の派遣は、選挙の公正性につき確認を行うものでしたが、今回の選挙結果を礎として新たな一歩を踏み出すコンゴ民主共和国の人々に対し、我が国が支援を行ったことの意義は大きかったと言えます。



激動の大地

# コンゴ民主共和国

## ▼ 2006年7月30日 大統領選挙第1回投票及び国民議会議員選挙

有権者総数：約2,542万人

投票率：約71%

派遣人員：選挙監視要員8名（うち3名は民間人）

派遣期間：7月21日～8月5日

(決選投票に進んだ大統領候補)	(有効投票数)	(有効投票総数に占める割合)
ジョゼフ・カビラ候補	7,590,485票	44.81%
ジャン・ピエール・ベンバ候補	3,392,592票	20.03%

## ▼ 2006年10月29日 大統領選挙決選投票

有権者総数：約2,542万人

投票率：約65%

派遣人員：選挙監視要員5名（うち3名は民間人）

派遣期間：10月23日～11月2日

(決選投票の結果)	(有効投票数)	(有効投票総数に占める割合)
ジョゼフ・カビラ候補	9,436,779票	58.05%
ジャン・ピエール・ベンバ候補	6,819,822票	41.95%